

# Cisco Unified Communications Manager Express な サービス拒否の脆弱性

High	アドバイザーID : cisco-sa-20100324-cucme	<a href="#">CVE-2010-0585</a>
	初公開日 : 2010-03-24 16:00	<a href="#">0585</a>
	最終更新日 : 2012-09-21 19:04	<a href="#">CVE-2010-0586</a>
	バージョン 1.1 : Final	<a href="#">0586</a>
	CVSSスコア : <a href="#">7.8</a>	
	回避策 : <a href="#">Yes</a>	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCsz48614</a> , <a href="#">CSCsz49741</a>	

**日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。**

## 概要

実行するデバイス Cisco IOS<sup>®</sup> ソフトウェアは成功すれば不正利用されてデバイスのリロードという結果に終わるかもしれない 2 サービス拒否の脆弱性から Cisco Unified Communications Manager Express ( CME ) または Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony ( SRST ) オペレーションのために設定されて影響を受け。脆弱性は Cisco IOS デバイスが特定、不正な Skinny Client Control Protocol ( SCCP ) メッセージを処理するとき引き起こされます。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートを提供しています。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100324-cucme> で掲示されます。

注: 2010 年 3 月 24 日、Cisco IOS ソフトウェア Security Advisory によって組み込まれる書は 7 つのセキュリティ アドバイザリが含まれています。すべてのアドバイザーは Cisco IOS ソフトウェアの脆弱性に対処します。各アドバイザーには、そのアドバイザーで詳述された脆弱性を解決するリリースを記載しています。次の URL リストの表は正しい 2010 年 3 月 24 日送達されたすべての Cisco IOS ソフトウェア脆弱性、またはそれ以前ことリリースします:

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100324-bundle>

"Cisco Event Response: 半年ごと Cisco IOS ソフトウェア Security Advisory は次のリンクのパブリケーションを」組み込みました:

## 該当製品

# 修正済みソフトウェア

Cisco Unified CME オペレーションのために設定される Cisco IOS デバイスは **show running-config** コマンドが発行されるとき次の出力を表示する:

```
telephony-service
...
!
ephone <Ethernet phone tag>
...
```

Cisco Unified SRST オペレーションのために設定される Cisco IOS デバイスは **show running-config** コマンドが発行されるとき次の出力を表示する:

```
call-manager-fallback
...
```

Cisco 製品で稼働している Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認するには、機器にログインし **show version** コマンドを実行してシステムバナーを表示させます。"Internetwork Operating System Software"、"Cisco IOS Software" あるいはこれらに類似するシステムバナーによってデバイスで Cisco IOS ソフトウェアが稼働していることを確認できます。イメージ名は「バージョン」および Cisco IOS ソフトウェアリリース名によって、続かれて括弧内に表示する。他の Cisco 機器では、**show version** コマンドがない場合や、表示が異なる場合があります。

以下の例は、Cisco 製品にて、IOS リリース 12.3(26) が稼働し、そのイメージ名が C2500-IS-Lであることを示しています:

```
Router#show version
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) 2500 Software (C2500-IS-L), Version 12.3(26), RELEASE SOFTWARE (fc2)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 17-Mar-08 14:39 by dchih
```

<output truncated>

次の例は C1841-ADVENTERPRISEK9-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(20)T を実行している Cisco 製品を指定したものです:

```
Router#show version
Cisco IOS Software, 1841 Software (C1841-ADVENTERPRISEK9-M), Version 12.4(20)T, RELEASE SOFTWARE (fc3)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Thu 10-Jul-08 20:25 by prod_rel_team
```

<output truncated>

Cisco IOS ソフトウェアのリリース命名規則の追加情報は以下のリンクの "White Paper: Cisco IOS Reference Guide" で確認できます: <http://www.cisco.com/warp/public/620/1.html>。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco IOS XR ソフトウェアは影響を受けていません。

Cisco IOS XE ソフトウェアは影響を受けていません。

Cisco Unified Communications Manager は影響を受けていません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

### 改訂履歴

リビジョン 1.0	2010-March-24	初版リリース
-----------	---------------	--------

### 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。